

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

# システム開発に関するご相談

2026年1月21日  
トヨタ自動車(株)  
CNシステム開発部

# 本日議論したいこと

## Appendix : ヒアリング項目（要点）



ヒアリング対象者ごとに、確認すべき要点を整理しました。各領域のご担当者様アサイン検討および事前準備の参考としてご覧ください。

▼詳細をお話しさせていただきたい

### ① 国内商品部門

- ・判断ルール：誰が何を決めるか
- ・必須条件：譲れない要件
- ・成功の基準：何ができるばOKか

### ② CNシステム開発部（村松様・秦様）

- ・目的・背景：なぜ今やるか／何に困っているか
- ・理想の姿：どう見える・どう回るのが理想か
- ・制約条件：システム・データ・セキュリティの前提

### ③ 車両販売店

- ・現場の流れ：相談～工事完了までの実態
- ・業務の非効率箇所：手戻り・遅延箇所
- ・必要情報：進捗・次アクション・連絡方法

### ④ 施工管理会社

- ・管理方法：進捗ステータス／管理項目
- ・業務の非効率箇所：手戻り・遅延箇所
- ・必要書類の管理：保存場所・検収の流れ

### ⑤ 施工会社

- ・現場の流れ：調査→日程→施工→報告
- ・業務の非効率箇所：情報不足・当日トラブル
- ・必要情報：図面・条件・立会い・写真など

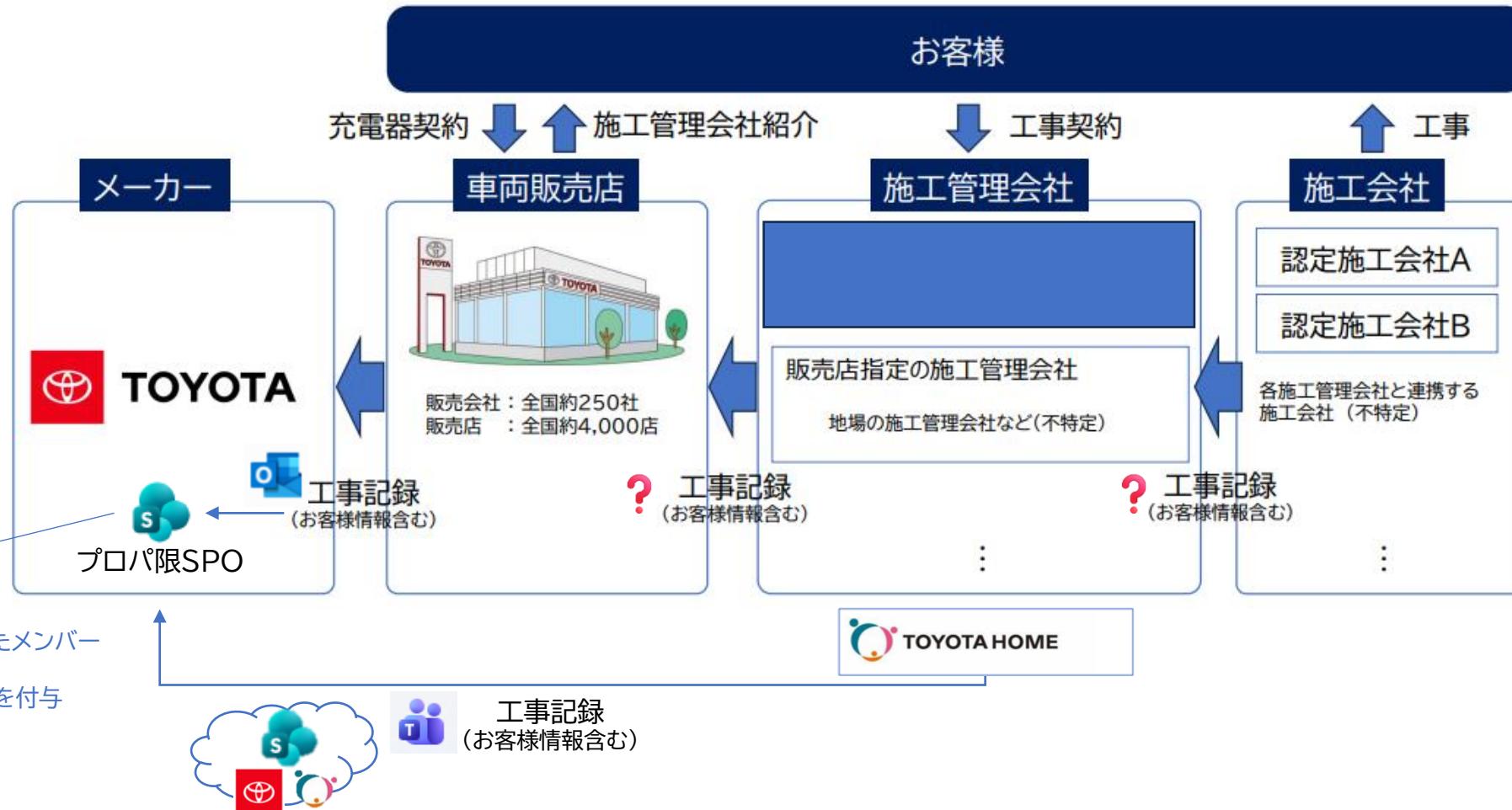
### ⑥ インフラ・セキュリティ部門

- ・利用ルール：使って良いツール・禁止事項
- ・権限・共有：誰が何を見れるか
- ・審査・条件：事前に必要な手続き・資料

# 現行業務の情報・運用ルール、セキュリティ、利用環境等

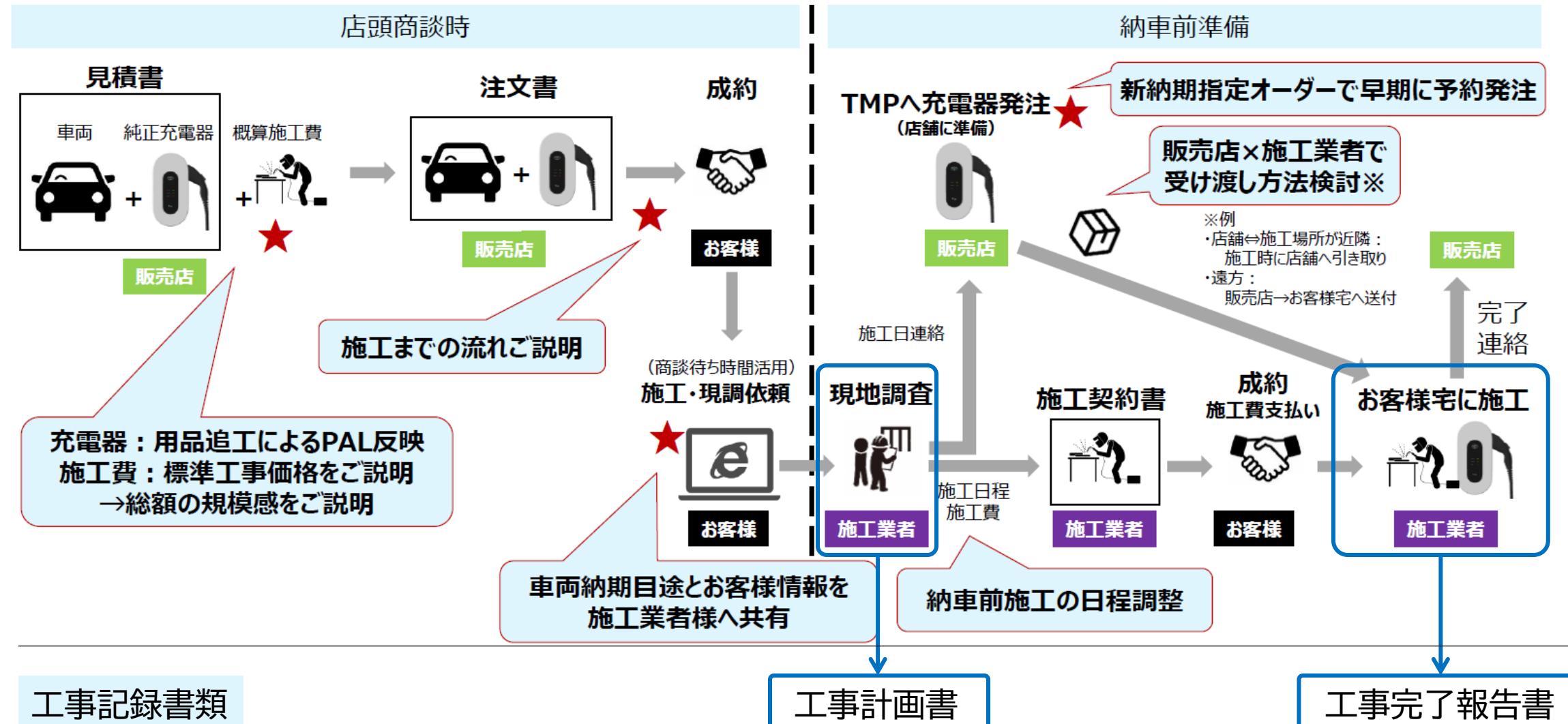
他社のシステム、オペレーションは弊社からはよくわからない。

## ◆ 販売・施工体制イメージ



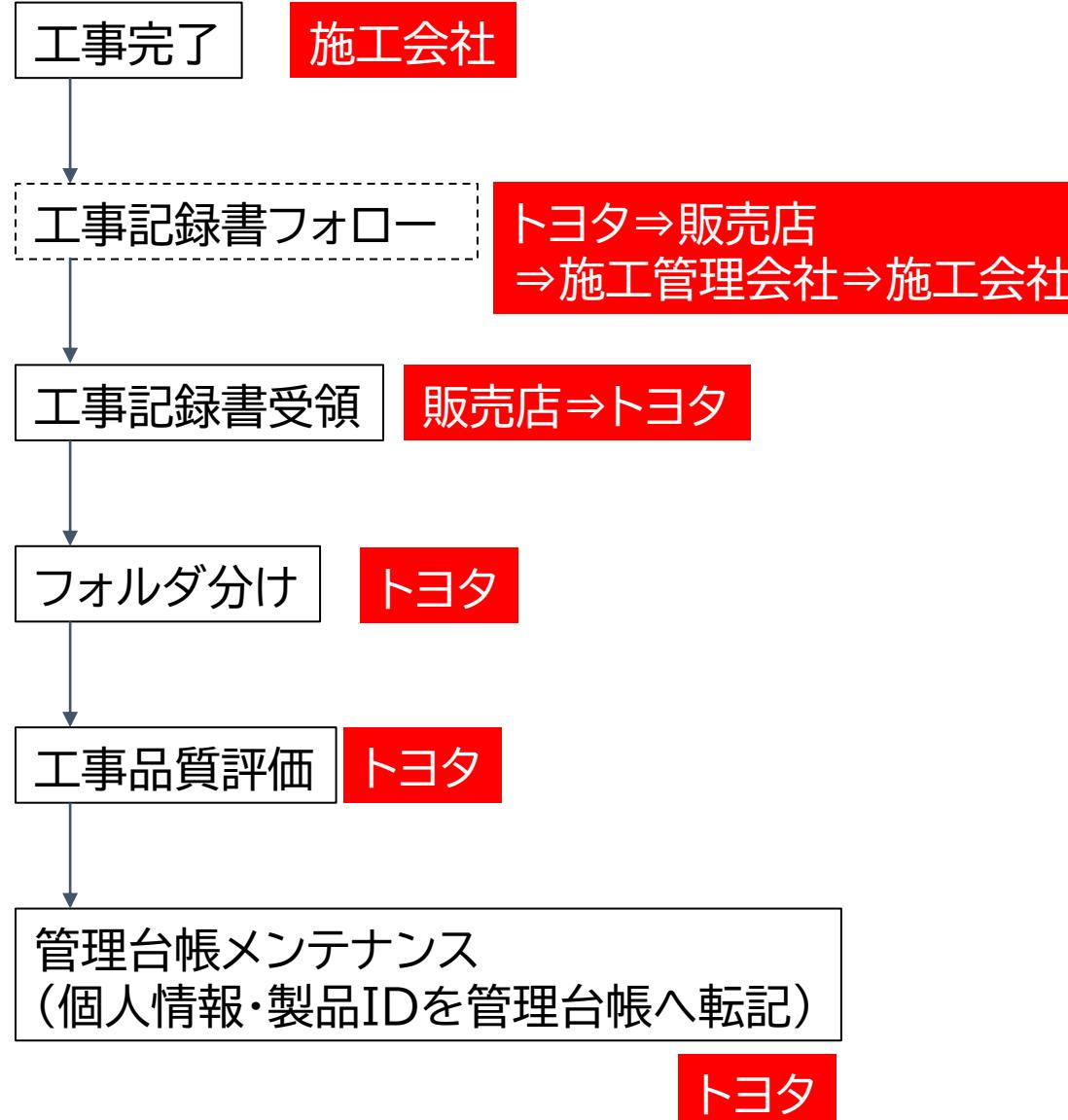
# 商談～工事に関する業務フロー

■充電器は「車両とセット」で商談、施工は「お客様×施工業者(販売店から紹介)」で契約



# 現行業務（工事記録書）に関する困りごと

現状フロー：

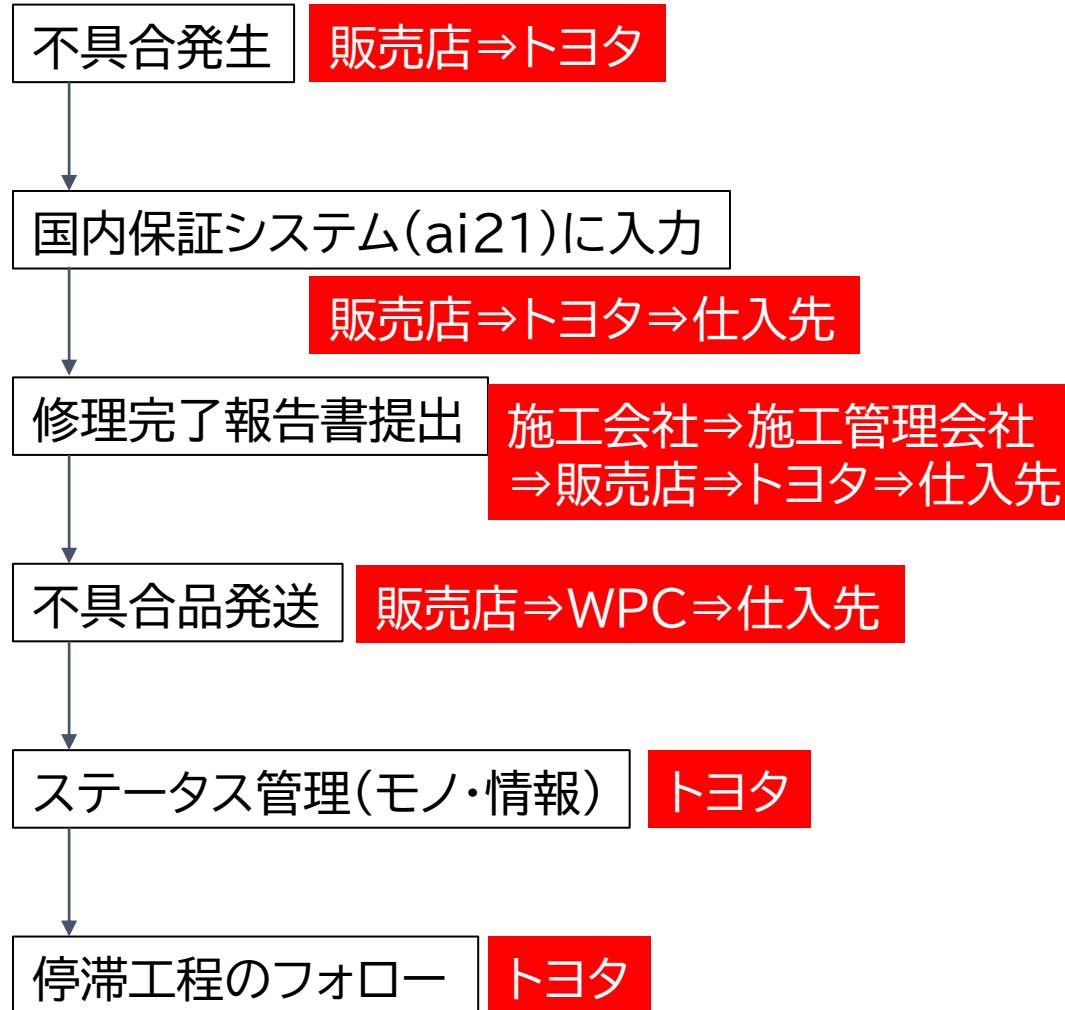


困りごと：

- ・トヨタから見て、工事がいつ終わるかわからない
- ・工事予定がわからずフォローできない
- ・受注台数を把握しにくい
- ・フォローするのがしんどい
- ・通過する工程が多い
- ・各社からメールやTeams上で受領(手段がバラバラ)
- ・共通のID管理ができない為、各施工会社ごとに管理
- ・各社ごとに管理するのに工数がかかる
- ・個人情報管理フォルダに移すのがめんどう
- ・各社ごとに書類フォーマット、記載している内容がバラバラで、品質評価がしにくい。
- ・市場不具合発生時はすぐにアクセスしたい。
- ・トヨタホームのフォーマットではPADで転記自動化を組んだが各社フォーマット、ファイル形式もバラバラなので苦戦している

# 現行業務（市場不具合）に関する困りごと

現状フロー:



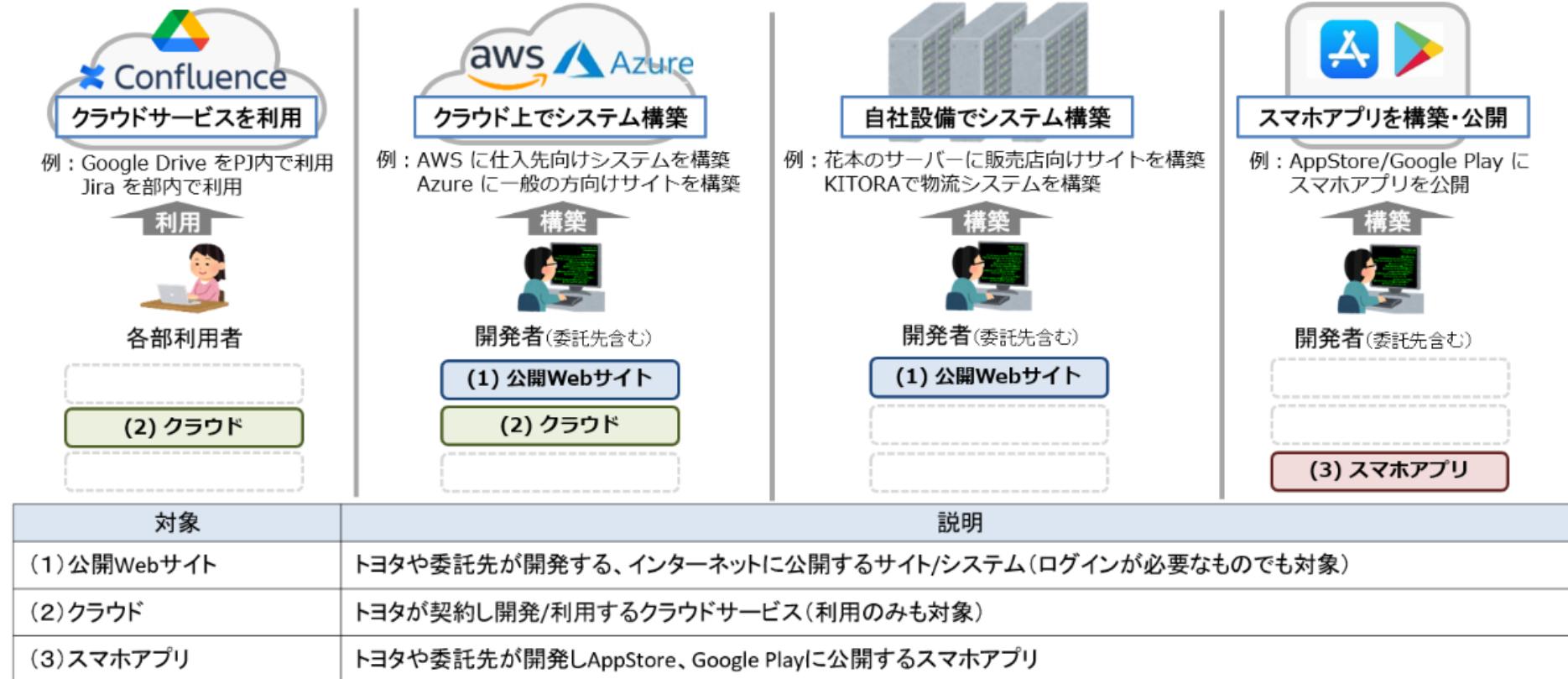
困りごと:

- ・メール(マーリングリスト)で受領。  
(本来、トヨタの市場不具合情報システムTQ-NETを使いたいが個人情報保護観点で利用不可)
- ・販売店が入力しないと不具合品が発送できず  
不具合解析に遅れが生じる
- ・修理完了報告書(不具合情報、状況の詳細)が受領できず  
不具合解析に遅れが生じる
- ・不具合品追跡がしにくい。1件1件検索する必要ある。
- ・モノ・情報を一覧ですぐに見たい  
(メンテナンスは現状手動で実施)
- ・情報を一元化したエクセル1つで管理したいが  
仕入先と共有する必要あるため複数エクセルで管理。  
(2重管理で抜けもれ発生リスクあり)
- ・不具合件数、不具合種別でソートをかけて分析したい。

# Appendix : システム開発の審査LT

## 1. はじめに ↳

クラウドサービスの利用時やインターネットに公開するシステム（サイト）を構築する場合、セキュリティ担保のために情トラ部提供の各種手続きを実施ください。  
「2. 手続き確認方法」にて、必要な施策を確認してください。



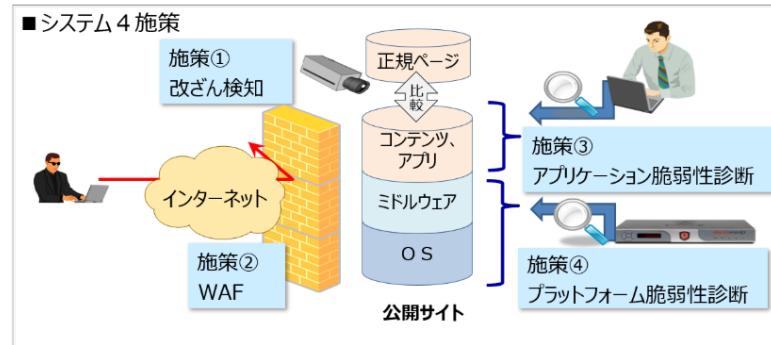
# Appendix : システム開発の審査LT

## 1. はじめに

インターネットにシステム・サイトを公開する場合、ハッカー等から攻撃を受ける可能性がございます。  
情報漏えい・サービスの停止といった被害だけでなく、お客様のPCをウイルス感染させてしまうなど、加害者になる恐れもあります。  
トヨタのお客様の安心安全を守る為に、情トラ部提供の施策を実施し、セキュリティレベルを向上させてください。

## 2. 提供施策一覧

- 「[公開Webサイトセキュリティ対策基準/ガイドライン](#)」（「6. 資料一覧」参照）
- 「[システム4施策](#)」（改ざん検知、WebApplicationFirewall（WAF）、アプリケーション脆弱性診断、プラットフォーム脆弱性診断）



## 3. 対象

### インターネットに公開するシステムやサイトを構築される方

※ログイン認証がある場合や、構築を委託する場合も対象

※ただし、社内やATI（オールトヨタインターネット）にしかネットワークに接続していない、

**アクセス元をIPアドレスで制限しているという場合は「任意」**

## 4. 実施手続

- (1) 「[サイト概要ヒアリングシート](#)」を記入の上、サーバ構成のわかる資料と共にメールに添付し下記窓口まで送付。  
また受領後、窓口よりキックオフの日程調整をしますので、

**メール本文には打合せ可能な候補日を3つほど記載ください。**

なお、施策導入済の環境における改修・リニューアル・閉鎖時は、一度窓口まで対応内容をご相談ください（添付不要）

公開Webサイトセキュリティ対策窓口 <[in-websecurity@mail.toyota.co.jp](mailto:in-websecurity@mail.toyota.co.jp)>

- (2) キックオフ開催前までに、事前に下記動画を視聴いただき、施策概要・導入方法を把握。

- 1番はじめに視聴：①公開サイトに必要な対策の全体像
- 2番目以降に視聴：②～⑤の各動画（WAF/改ざん検知/アプリ診断/PF診断。順不同）

※不明点はキックオフ内でご質問ください。

(3) 窓口とキックオフを開催（対象施策の認識合わせ+(2)の質疑応答など。基本Web会議30分）

(4) 窓口指示に従い対応推進

施策	概要	導入対象(※1)
①	改ざん検知サービス「WebS@T」を利用し、Webサーバ上のWebページに対する不正な改ざんを監視・検出	号口・開発
②	アプリケーションレイヤーで攻撃を検知・遮断するファイアウォール。 WAFを導入したサイトへの通信は、一度Akamai WAFのサーバを経由し、攻撃でないと判別された通信のみを中継	号口・開発
③	会員画面や管理画面など、Webアプリケーションに存在する脆弱性を人手によって診断・検出	開発(※2)
④	古いOSの利用など、OSやミドルウェアの脆弱性を脆弱性診断ツール（QualysGuard VM）を用いて、診断・検出	号口・開発

※1：インターネットに公開している場合、という前提  
便宜上、「検証・試行・ステージング」環境も開発環境に含む

※2：開発環境で検出された脆弱性を号口でも改修

## 5. スケジュール

導入完了まで平均2か月かかります。余裕を持ったご対応をお願いいたします。

施策	平均LT	内容			
		N-3月	N-2月	N-1月	N月
ガイドライン	-	★キックオフ	記入・確認・準備		★リリース
①改ざん検知	2週間	監視対象確認			監視・検知
②WAF	1～2ヶ月	各ヒアリングシート記入 WAF構築 SSL証明書発行	動作検証 DNS切替	動作検証	遮断
③アプリ診断	1.5ヶ月	事前調査	診断実施	脆弱性改修	定期診断(※)
④PF診断	2週間	日程調整 診断実施	脆弱性改修		定期診断(※)

※ ③アプリ診断は1～2年毎

④PF診断は3か月毎  
いずれも窓口から連絡あり

以上